

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

<b>事務事業名</b>	地産地消推進事業		<b>担当部署</b>	経済建設部 経済局 農林水産課
<b>総合計画体系</b>			<b>根拠法令計画など</b>	食育基本法
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	<b>事業期間</b>	開始 平成 19 年度
政策(中項目)	1	活力都市なると		
(小項目)				
施策	10	農業の振興		終期 未定
基本事業	3	消費者の信頼の確立		

◎事業概要(PLAN)

<b>事業対象</b>	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民														
<b>事業目標</b>	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	新鮮かつ安全、安心な鳴門市内でとれた農水産物を販売する場所や環境の整備を図るとともに、学校給食などにおいて地元食材の利用促進を図ることにより、市民1人ひとりが食の大切さを見直し、心身の健康を守り、人生を豊に生きることができる人を育てることを目的とする。														
<b>成果目標</b>	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育・産直・地産地消イベント来場者数</td> <td>17,000</td> <td>18,000</td> <td>19,000</td> <td>20,000</td> <td>21,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	食育・産直・地産地消イベント来場者数	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
食育・産直・地産地消イベント来場者数	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	人										

◎実施結果(DO)

<b>事業実施内容</b>	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門ウチノ海新鮮市等の産直市や食のワークショップなどを関係機関等と連携し取り組み、地元食材を題材とした食について考える機会を設け、地元食材の利用促進と食育を推進した。					
<b>事業実施手法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
<b>指標名</b>							
<b>活動指標</b>	1 食育・産直・地産地消イベント開催回数	12	12	12	12	12	回
	2						千円
<b>成果指標</b>	食育・産直・地産地消イベント来場者数	15,800	14,550	—	—	—	人
	<b>目標達成率(実績/目標)</b>		80.8	—	—	—	%

<b>コスト分析</b>		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
<b>事業費</b>	(財源内訳の合計)	311	300	310	310	310	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	311	300	310	310	310	
<b>事業にかかる人件費</b>	(人件費内訳の合計)	1,955	652	652	652	652	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
<b>総事業費</b>	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	2,266	952	962	962	962	千円

【事務事業名：地産地消推進事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	新鮮かつ安全、安心な市内農水産物を販売する場所や利用を促すための環境整備を図ることで、地元食材の市内での流通拡大による地産地消を推進している。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	廃止した場合には、市民が地元の新鮮かつ安全な農水産物を購入する機会が減少する可能性がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 農業の振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民1人ひとりが食の大切さを見直し、豊かな生活を送ることに貢献している。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
4	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	市内産直に対する支援方法等については、継続性の観点からは効率性向上を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	事業推進のためには関係機関及び生産者等の連携が必要不可欠である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	未定 ▼			
	どのように改革するのか	鳴門ウチノ海新鮮市については、生産者が自立し主体的に取り組むことが可能となるよう、行政としての支援方法を検討していく。また、地産地消の推進を図るため一人でも多くの生産者(農業者・漁業者)の参加を促していく。平成22年度に策定した食育基本計画の進捗管理については、各部課連携による効率化を図るなかで取り組む。			